

心とか記憶とか魂とか言うもの

作詞 J'Soul (浅羽一)

足下に何か光るものを見つけた気がして 確かめようと腕を伸ばしたら  
そこには何も落ちてなくて その代わりに僕のポケットから  
何かが落ちて転がっていった

足下を何か小さなものが転がって行って 掴まえようと慌てて走り出す  
追いかけるものが何なのか どうしても思い出せないけれど  
何故だかとても大切な気がした  
必死で駆ける 思い切って手を伸ばす 届かなくて派手に転ぶ  
必死で立って 震えだした足で追う 徐々に近づく後ろ姿 } ■  
『あぁ…そうだ…あれは僕自身だ…』

どれほどの価値が目の前のものにあると言うのか 何度も諦めそうになりながら  
だけど足は止められずにいた 先に誰かに奪われてしまう  
そんな恐怖が体を動かした

■繰り返し

幻じゃない あれだけは唯一僕だけのものだ

必死で駆ける 思い切って手を伸ばす 届かなくて派手に転ぶ  
必死で立って 震えだした足で追う 徐々に近づく後ろ姿  
必死で叫ぶ 意味なんかどうでも良い ただ力の限り叫ぶ  
必死で飛んだ 何度だってやってやる 僕自身を取り戻すまで

『…あぁ…やっぱり…これは僕自身だ…』